

開催記録

名 称	令和５年度第１回会津美里町地域公共交通会議
開催日時	令和５年度１１月７日（火） 午前１０時００分から午前１０時３０分まで
開催場所	会津美里町役場本庁舎（じげんプラザ） ２０３・２０４ 会議室
出席者	別添委員名簿のとおり 出席：１４名（うち代理出席１名） 欠席：１名 オブザーバー参加：２名 事務局：政策財政課長 國分利則、政策財政課長補佐 立川 昇 政策企画係長 鈴木幸信、政策企画係主事 渡部 陽子 計１７名
議 題	○報告 会津美里町地域公共交通網形成計画に係る令和４年度の取組評価について ○協議 デマンド交通坂下厚生総合病院便運行実証事業実施および事業計画の変更について
資料の名称	○会津美里町地域公共交通網形成計画に係る令和４年度の取組評価について ○デマンド交通坂下厚生総合病院便運行実証事業実施および事業計画の変更について
記録方法	☐ 全文記録 ☐ 発言者の発言内容ごとの要点記録 ☒ 会議内容の要点記録
内 容	
会議開始前、委嘱状の交付が行われた。 １ 開会（省略） ２ あいさつ（省略） ３ 委員及び事務局紹介（省略） ４ 副会長の選任 （事務局）所属機関の人事異動により、前副会長「福島県会津地方振興局 佐藤 秀樹（さとう ひでき）様」が退任。 会津美里町地域公共交通会議設置要綱第５条により、委員の互選により選出する。 （委 員）事務局に一任	

(事務局) 副会長 諏訪慎弥(会津地方振興局)
(事務局) 只今の事務局案のとおり決定でよいか。
(委員) 異議なし
(副町長) 以上をもって、副会長を決定する。

5 議事

(1) 報告事項①

会津美里町地域公共交通網形成計画に係る令和4年度の取り組み評価について

【資料1】に基づき、事務局より説明。

(会長) 只今、事務局より説明があった。質問等はあるか。

(委員) 補足がある。

基本方針①の路線バス利用者数については、会津乗合自動車(株)が年4回実施している乗降調査の結果を町に提供し、実績値として算出している。令和3年度から令和4年度にかけて微減となっているが、この数値は365日のうちの4日間のみの調査の実績値となっている。実際のところ、収入はコロナ禍からの回復が見られたため、収入は増加の回復傾向にある。あくまで推計値としてだが、令和4年度会津美里町のバス利用人員は218,000人、令和3年度は196,000人と収入も輸送人員も年間で回復している傾向にある。そのため、実績値として上がっている令和4年度路線バス利用者数547人はあくまで実態調査の結果ということをご理解いただきたい。

また、基本方針②のUD車両導入率についても、数値だけみると令和3年度82.1%、令和4年度75%と下がっているように見えるが、例年老朽化した車両の入れ替えを行っており、会社全体としてのUD車両数は年々増えている。実績値は、あくまで会津美里町内の路線に合わせた全体の車両数のうちのUD車両数であることをご理解いただきたい。

(2) 協議事項①

デマンド交通坂下厚生総合病院便運行実証事業実施および事業計画の変更について

【資料2】に基づき、事務局より説明。

(会長) 只今、事務局より説明があった。オブザーバーとして出席している会津坂下町より補足や意見はあるか。

(会津坂下町) すでに町間の協議は済んでいるため、会津坂下町としては問題ない。

(委員) AIシステムは使わないのか。

(事務局) 実証事業の段階では使わない。

(委員) こういったものは地域内交通との組み合わせによって、いかに経費を圧縮するか

が重要である。

実証事業の段階では良いと思うが、将来的には AI システムの活用を見据えた方が良い。

(事務局) AI のシステムを最大限に導入させることは必要だと考えている。実証事業によって利用者数や需要、相乗り率等を把握した上で最適な運行方法を検討し、最終的には AI システムを導入するのが良いと考えている。

(会 長) 協議事項①デマンド交通坂下厚生総合病院便運行実証事業実施および事業計画の変更について異議ありませんか。

(委 員) 異議なし。

(会 長) 異議なしという事ですので、原案のとおり可決する。

6 その他

(事務局) 本日の会議出席にかかる報償費を支払う。報償費は 11 月 20 日振込となる。

7 閉会

以上、会議記録として報告します。